

山岡淳先生を偲んで

一般財団法人MOA健康科学センター
業務執行理事 内田 誠也

山岡淳（やまおかきよし）先生が令和3年8月16日に、享年92歳でご逝去されました。

山岡先生は昭和4年に福岡県福岡市薬院町でお生まれになり、昭和33年に日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程満期退学後、日本大学文理学部非常勤講師などを経て、昭和47年に日本大学教授、平成9年に文京女子大学教授を歴任されました。その後、大学での功績が認められ、平成21年に瑞宝中綬章を叙勲されました。

先生のご功績の一つとして、国産第一号脳波計（木製号）を用いて日本で初めて脳波のアルファ波を記録されたことが挙げられます。木製号は有名大学医学部と大病院などに4台納入され、その一台が日本大学心理学部にあったそうです。当時、先生は日本大学の学生でありましたが、研究に対する情熱が高く、様々な工夫を凝らすことで、他の大学医学部や大病院の研究者が成し遂げられなかった脳波の計測を、見事に達成されたそうです。先生は大変お酒が好きで、酔われるとその当時の話を懐かしそうに誇らしげに語られ、私はその話を伺うのがいつも楽しみでした。その後、先生は脳波を心理学の分野に広め、生理心理学という新しい科学領域を創られ、その発展に貢献されました。特に、瞑想やヨガ、坐禅、催眠、気功の生理心理学的な研究は世界的な先駆けとして行われ、現在の統合医療のエビデンスの基礎となっております。

私が先生と初めてお会いしたのは、平成3年にMOA九州生命科学研究所が福岡県粕屋町に開所し、研究員として働き始めた頃でした。研究に関しては厳しい面を持っておられましたが、人間味あふれる、優しい先生という印象でした。その後、何度もお酒をご一緒させていただきましたが、愚痴や悪口などが話題に上がることはなく、愉快で、楽しい話題で盛り上がり、周りに人が集まるような先生でした。その当時の私は、職場環境やプライベートのことで悩むことが多く、その度に胸の内を先生に吐き出し、聞いていただきました。先生は私の話をよく聞いて、共感していただき、本当に精神的に救われ、現在の私があるのは先生のお陰であると感謝いたしております。

一方で、先生は深刻な病気も体験されました。平成3年と平成5年に大腸がんの手術を受けられましたが、特に2度目は癒着がひどくて、すべてを切除できませんでした。先生はこの危機的な体験を通して考えをまとめられ、当財団のホームページ（<http://mhs.or.jp/blog/2014/03/post-4.html>）にエッセイとして寄稿されました。その一文を紹介いたします。

「確かにストレスには、悪玉なものが多いのは事実ですが、善玉と見なされるようなストレスもあるのです。

- ① むしろ「善玉ストレス」は多く存在するし、大いに活用すべきである
- ② 適度のストレスは軽度の緊張を産み易いので、避けるのではなくむしろ歓迎すべきである
- ③ 『悪玉』を『善玉』と変容できるのは、その受け入れる側の「姿勢」次第である

という持論を持ってきました。」

つまり、がんになるということは大変なストレスです。先生は、そのような状態の中で、「がんと共に活動しよう」という考え、「共活」という考えに至られました。「『悪玉』を『善玉』と変容できるのは、その受け入れる側の「姿勢」次第である」ということを自ら実践され、平成18年には精密検査でが

んが見つからず、寛解という奇跡を体験されました。

当財団においては、平成4年から平成7年にかけて研究助成を行い、気功や岡田式浄化療法の研究を行っていただきました。平成15年4月に当財団の研究顧問に就任されてから、積極的に岡田式浄化療法の研究にかかわっていただき、多くの論文や学会発表に関して助言をいただきました。2012年に海外の代替相補医学誌に岡田式浄化療法の研究が掲載されましたが、実験デザインは先生のアドバイスによるものであり、先生のご助言がなかったら、論文がその雑誌に掲載されなかったと思っております。誠にありがとうございました。晩年は当財団の研究員の育成にご尽力くださり、木村主任研究員は日本応用心理学会理事、私は日本生理心理学会評議員として、学会で貢献できるように道を作っていただきましたことに感謝申し上げます。

最後に先生と行った研究の業績として、一輪のお花の生理心理学的効果に関する研究が、令和元年の日本応用心理学会で優秀大会発表賞をいただきました。その大会は先生の母校である日本大学で開催され、先生が育てた日大オーケストラの演奏が行われている中で授賞式が行われ、先生はとても感激しておられました。その時は、これが先生との最後の思い出になるとは思いませんでした。

山岡先生は、天国で大好きだったお酒を飲みながら、私たちを見守っていただいていると思います。長年にわたる研究に関するご助言、またお酒を飲みながらの心温まるお導きに心より感謝申し上げます。当財団の研究がさらに充実し、岡田式健康法が社会に認められるように、職員一同頑張っております。有難うございました。

- 【職名、学位】** 日本大学名誉教授、文学博士（日本大学）
【専門領域】 生理心理学、脳波計測、ポリグラフ、ヨガ、坐禅、瞑想、気功、香りの研究
【所属学会】 日本心理学会、日本応用心理学会（名誉会員）、日本生理心理学会（名誉会員）、日本パーソナリティ心理学会（名誉会員）



【略 歴】

昭和4年(1929) 7月25日生まれ
(福岡県福岡市薬院町)

昭和28年(1951) 3月
日本大学文学部心理学科卒業

昭和30年(1955) 3月
日本大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了

昭和33年(1958) 4月
日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程満期退学

昭和33年(1958) 7月
日本大学文理学部非常勤講師(担当科目心理学)

昭和39年(1964) 4月 日本大学助教授

昭和41年(1966) 1月～昭和42年1月
オーストリア国立ウィーン大学哲学学部神経心理学研究所に留学(H. Rohracher教授に師事)

昭和47年(1972) 4月 日本大学教授

昭和63年(1988) 6月
文学博士(日本大学 第3653号)

平成9年(1997) 4月 文京女子大学人間科学部教授

平成21年(2009) 4月 瑞宝中綬章を叙勲

【MOAとの関係】

平成3年(1991) 11月
MOA九州生命科学研究所理事

平成4年(1992)
研究助成「気功の生理心理学的研究」

平成5年(1993)
研究助成「気功の生理心理学的研究(第2年次)」

平成7年(1995)
研究助成「気功・浄霊の生理心理学的基礎研究」

平成15年(2003) 4月
(財)エム・オー・エー健康科学センター研究顧問

平成20年(2008) 6月
(財)エム・オー・エー健康科学センター顧問

【MOA健康科学センターにおける山岡先生が関わった論文の一覧】

- 1) 山岡淳, 菅野久信, 大村政男, 梶村憲之, 山本麻子. 気功の生理心理学的研究(第1報). MOA健科報. 1, 261-271. 1993
- 2) 山岡淳, 菅野久信, 大村政男, 梶村憲之, 山本麻子. 気功の生理心理学的研究(第2報). MOA健科報. 2, 141-165. 1994
- 3) 山岡淳. 外気功と岡田式浄化療法(浄霊)の生理心理学的効果に関する比較研究. MOA健科報. 10, 91-100. 2005
- 4) 内田誠也, 津田康民, 菅野久信, 山岡淳, 新田和男. 岡田式浄化療法が人の心拍変動に及ぼす影響. MOA健科報. 12, 27-34. 2009
- 5) 内田誠也, 津田康民, 木村友昭, 山岡淳. 美術文化活動と高齢者の脳機能について. MOA健科報. 13, 61-72. 2009
- 6) 木村友昭, 津田康民, 内田誠也, 岩橋成寿, 烏帽子田彰, 山岡淳. 日本語版自覚ストレス調査票の短縮版作成のための検討. MOA健科報. 12, 21-25. 2009
- 7) 内田誠也, 津田康民, 木村友昭, 山岡淳, 新田和男, 菅野久信. 肩の筋硬度計測による肩こりの評価に関する検討. 心身医学. 51(12), 1120-1132. 2011
- 8) 内田誠也, 木村友昭, 津田康民, 坂口弘征, 利見晃二, 新田和男, 菅野久信, 山岡淳. 職域健診における健康状態およびライフスタイルの調査. MOA健科報. 15, 45-56. 2011
- 9) Uchida S, Iha T, Yamaoka K, Nitta K, Sugano H. Effect of biofield therapy in the human brain. The Journal of Alternative and Complementary Medicine. 18(9), 875-879. 2012
- 10) 内田誠也, 伊波剛彦, 山岡淳, 新田和男, 菅野久信. 岡田式浄化療法が人の脳波に及ぼす効果. MOA健科報. 16, 65-74. 2012
- 11) 内田誠也, 岡田雄太, 木村友昭, 山岡淳, 松本洗. 庭園や美術品の鑑賞による癒しが人の心理や生理に及ぼす効果. MOA健科報. 16, 31-39. 2012
- 12) Kimura T, Tsuda Y, Uchida S, Eboshida A, Yamaoka

- K. Validity of computer-assisted health assessment using visual analogue scales and face scales: a comparison between younger and older participants. *Japanese Journal of Applied Psychology*. 38, 101-108. 2012
- 13) 内田誠也, 岡田雄太, 山岡淳, 新田和男. 東京療院における健康プログラムのストレス緩和効果について. *MOA健科報*. 17, 21-29. 2013
- 14) 木村友昭, 松尾汎, 飯田尚治, 牧美輝, 新田和男, 内田誠也, 坂口弘征, 津田康民, 山岡淳, 鈴木清志. 統合医療施設の受診者におけるライフスタイル、健康法の実施、およびQOLとの関連—多施設共同研究—. *MOA健科報*. 18, 39-51. 2014
- 15) 内田誠也, 木村友昭, 岡田雄太, 山岡淳, 松本洸. 「癒し」評価スケールを用いた児童書画鑑賞による癒し—3つの年齢群間の特徴について—. *MOA健科報*. 18, 67-72. 2014
- 16) 内田誠也, 岡田雄太, 山岡淳. 岡田式浄化療法による肩の筋硬度の変化—性別、年齢、施術前の筋硬度による違いの検討—. *MOA健科報*. 19, 13-23. 2015
- 17) 木村友昭, 松本洸, 内田誠也, 山岡淳. 尾形光琳300年忌記念特別展における美術品鑑賞による癒しの効果—回答者の性別、年代、生活の質(QOL)と癒し度との関連—. *MOA健科報*. 19, 3-12. 2015
- 18) 木村友昭, 佐久間哲也, 伊坂裕子, 鈴木直人, 牧美輝, 烏帽子田彰, 内田誠也, 山岡淳. 大学生および社会人における抑うつ症状とスピリチュアルな態度との関連. *MOA健科報*. 20, 3-14. 2016
- 19) 内田誠也, 岡田雄太, 山岡淳. 岡田式浄化療法と、運動療法の併用が肩の筋硬度に及ぼす影響. *MOA健科報*. 20, 41-48. 2016
- 20) Kimura T, Sakuma T, Isaka H, Uchida S, Yamaoka K. Depressive symptoms and spiritual wellbeing in Japanese university students. *International Journal of Culture and Mental Health*. 9(1), 14-30. 2016
- 21) 木村友昭, 佐久間哲也, 伊坂裕子, 烏帽子田彰, 内田誠也, 岡田雄太, 山岡淳. 社会経済的要因およびライフスタイルは、「人生・生活の質」およびスピリチュアルな態度に関連する—地域住民を対象にした横断的調査の結果より—. *MOA健科報*. 21, 3-16. 2017
- 22) 内田誠也, 岡田雄太, 山岡淳. 2種類の圧入式筋硬度計の比較検討. *MOA健科報*. 21, 43-50. 2017
- 23) 木村友昭, 佐久間哲也, 伊坂裕子, 烏帽子田彰, 横山茂弘, 内田誠也, 山岡淳. 20項目版SKY式精神尺度の信頼性および妥当性の検討: ソーシャル・キャピタルとの関連に着目して. *MOA健科報*. 23, 3-13. 2019
- 以上